NEC

Ｎ８１７１－３３
１９型液晶ディスプレイ

取扱説明書

目次

まえがき　．．．

まえがき

この度は弊社製１９型液晶ディスプレイをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本書はカラーディスプレイに関する設定方法、接続方法、機能等についての説明書です。ご使用前に必ずお読みいただき、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解された上で本製品をお使いください。

ご注意

・本書は読み終わった後も、いつでも見られる場所に必ず保管しておいてください。
・本製品を譲渡される場合は、必ず本書も一緒に譲渡してください。
・本書を紛失された場合はお買い上げの販売店または当社営業までお問い合わせください。
・本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。
・本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がありましたらお買い上げの販売店または当社営業までご連絡くださいますようお願いいたします。ただし、本書を運用した結果につきましては、これに関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
・本書の他に、基本装置の取扱説明書の周辺機器に関する項目、および Windows 等のソフトウェアの取扱説明書も併せてお読みくださいますようお願いいたします。
・本製品の仕様、デザイン及び取扱説明書の内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。
・液晶パネルは非常に精度の高い技術で作られており、９９.９９％以上の有効画素がありますが、０.０１％以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。
・Windows は米国マイクロソフト社の商標です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると電波障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本製品は社団法人日本電子工業振興協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界」に関するガイドラインに適合しております。

本製品は日本国内用です。海外では使えません。

安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を使用しています。必ず内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告　この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。

⚠ 注意　この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。

絵表示の意味

三角のマークは何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。

丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かなければならないことを意味します。

⚠警告

● 故障したままの使用はしない

万一、本装置から変な音やにおい、煙が出た時など異常がある時はすぐに本体の電源スイッチを切り電源コードをコンセントから抜いてください。

電源プラグを
コンセントから抜く

● 裏ぶたをはずさない

本装置の裏ぶたは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、さわると感電するおそれがあります。

⚠ 警告	
	高圧注意 サービスマン以外の方は分解しないでください。 内部には高圧部分がありますので、万一さわると危険です。

分解禁止

感電注意

「本体背面ラベルに表示した事項」

● 電源コードを傷つけない

電源コードの上に重い物を乗せたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張らないでください。コードが破損して火災・感電の原因になります。

傷つけ禁止

● 不安定な場所に置かない

本装置を不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。

禁止

● キャビネットを破損したときは使用しない

キャビネットが破損した場合には、本製品の使用を中止してください。火災・感電の原因になります。

使用禁止

● 内部に異物を入れない

本製品の通風孔などから金属類や燃えやすいものなどを入れたり、落とし込んだりしないでください。また、水などの液体がかからないようにしてください。故障・火災・感電などの原因になります。特にお子さまにご注意ください。

禁止

● 改造・修理をしない

本装置を改造したり、お客様ご自身での修理は行わないでください。けが・火災・感電の原因になります。

修理・改造禁止

⚠警告

● 正しい電源電圧で使用する

指定の電源電圧以外の電圧で使用しないでください。故障、火災、感電の原因になります。

100 ボルト以外
使用禁止

● ポリ袋で遊ばない

体包装のポリ袋を頭からかぶるなどして遊ばないでください。かぶると窒息の原因になります。特にお子さまにご注意ください。

禁止

● ぬらしたり、水のある場所には置かない

水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因になります。

禁止

● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。

禁止

● 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない

雷が鳴り出したら電源プラグには触れないでください。感電の原因になります。

接触禁止

● 本装置の使用環境について

人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しないでください。本装置は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。

禁止

● ＡＣアダプタ及び電源コードは付属のものを使用する

ＡＣアダプタ及び電源コードは必ず付属のものを使用してください。付属以外のものを使用すると、火災の原因になることがあります。

付属品を使用

⚠注意

● 通風孔をふさがない

本装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。次のような使いかたはしないでください。あお向け・横倒し・逆さまにする、押し入れや本箱などの風通しの悪い狭いところに押し込む、ジュータンや布団の上に置く、テーブルクロスをかける。

禁止

● つぎのような場所には設置しない

油調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所、湿気やほこりの多い場所、直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど高温になる場所に本装置を設置しないでください。故障・火災・感電の原因になることがあります。

禁止

● 電源プラグをもって抜く

電源プラグを抜くときは､電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。必ずプラグをもって抜いてください。

プラグをもつ

● 接続線をつけたまま移動しない

本装置を移動させる際には、電源プラグや機器間の接続線をはずしたことを確認のうえ、移動させてください。接続線をつけたまま移動させるとコードに傷がつき、火災・感電の原因になることがあります。

禁止

● 電源プラグのほこりなどは定期的にとる

１年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。電源プラグにほこりがたまると火災の原因になることがあります。

ほこりを取る

● チルト台に指をはさまない

チルト台の取り付け時や操作時に指をはさまないようにご注意ください。けがの原因になることがあります

禁止

● 長期間使用しない場合は電源プラグを抜く

旅行などで長期間、本装置をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグを抜く

● お手入れの際は電源プラグを抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを接続したままお手入れをすると、感電の原因になることがあります。

プラグを抜く

● １年に１度は内部清掃を

内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。内部清掃は販売店にご依頼ください。

内部清掃

⚠注意

● 近くで無線機を使用しない

本製品の近くでＰＨＳ、携帯電話等の無線機を使用しないでください。誤動作の原因になることがあります。

禁止

● 信号ケーブルの接続について

信号ケーブルを基本装置に接続する前に、ケーブルコネクタが破損していたり、コネクタピンが曲がっていたり、汚れていないか確認してください。コネクタが破損したり、ピンの汚れたケーブルを使用した場合、ショートにより火災の原因になることがあります。なお、信号ケーブルの接続は本製品と基本装置の電源を切った状態で行ってください。信号ケーブルを基本装置に接続したら、固定ネジでしっかりと固定してください。固定しない状態で使用するとショートにより火災の原因になることがあります。

信号ケーブルを確認

● 液晶ディスプレイを廃棄する際には

液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には水銀が含まれておりますので、本製品を廃棄する際には法律に従ってください。詳細は所在の地方自治体にお問い合わせください。

正しく廃棄

使用上のご注意

● お手入れについて

お手入れの際には安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。本製品が汚れた場合は柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽くふいてください。（本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください。）揮発性の薬品（ベンジン・シンナーなど）を用いますと、変形・変色の原因になる場合があります。
液晶パネルの表面は傷つきやすいので硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。また、液晶パネルは壊れやすいので強く押したり、強い力を加えたりしないでください。

● 上手な見方

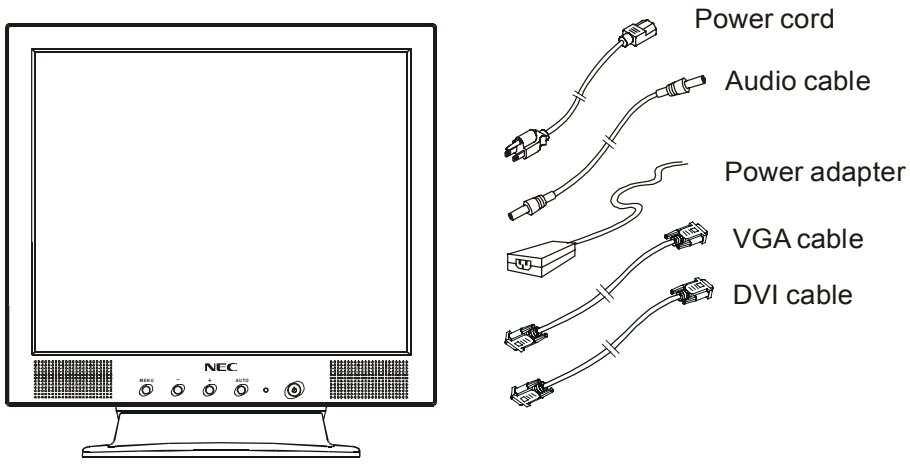
画面の位置は目の高さよりやや低く、目から４０～６０cm はなれたぐらいが見やすくて目の疲れが少なくなります。
明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。

本機の特徴

・１９型(４８．２６㎝)ＴＦＴ液晶パネル採用／２１型ＣＲＴ相当の表示領域
・最大表示画素数　１２８０ドット×１０２４ライン
・約１６７７万色フルカラー対応
・水平走査周波数　３０～８２kHz、垂直走査周波数　５０～７５Hz
・１８種類のプリセットタイミング及び５種類のユーザータイミングを記憶可能
・６０W以下の低消費電力を実現（省電力モード時は３W以下）
・奥行き２０．５㎝の省スペース設計
・ステレオスピーカー内蔵

添付品の確認

梱包を開梱しましたら、図１の付属品が全てそろっているか確認してください。万一、不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。



（図１）添付品一覧

本機の接続

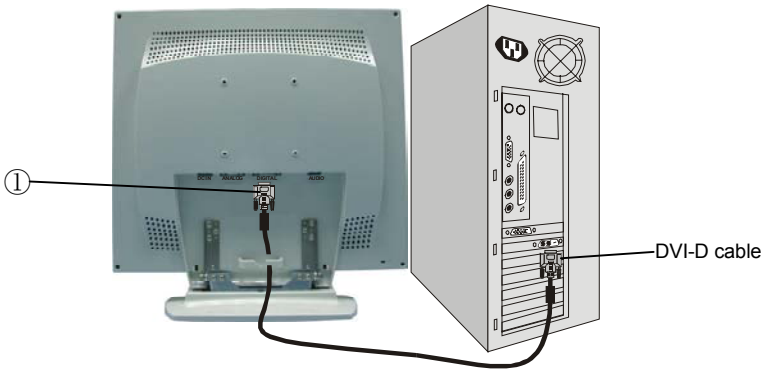
・信号ケーブルの接続

1．信号ケーブルを接続する前に、本機、基本装置及び周辺装置の電源が切れていることを確認してください。

2．アナログ入力を用いて基本装置へ接続する場合はミニ D-Sub15 ピンコネクタに接続します。（図２a の①）

（図２a）

3．デジタル入力を用いて基本装置へ接続する場合は DVI-D24 ピンコネクタに接続します。（図２b の①）



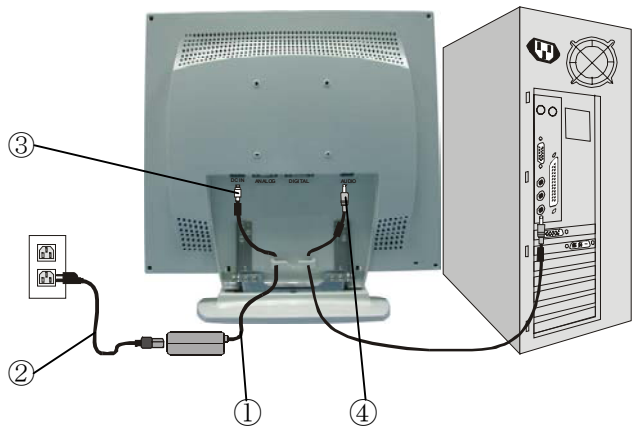
（図２b）

・電源の接続

１．ＤＣ電源ケーブル(図３の①)を本機の電源入力コネクタ(図３の③)に接続します。
２．ＡＣ電源ケーブル(図３の②)をＡＣ１００Ｖ電源コンセントに接続します。

・オーディオケーブルの接続

基本装置にオーディオ出力がある場合はオーディオケーブルを本機のオーディオ入力端子に接続します。(図３の④)



（図３）

本機を起動する

１．本機の電源スイッチ(図４の①)を押し、電源を入れます。その後、基本装置の電源を入れてください。このとき、電源ランプ(図４の②)は緑色に点灯します。
２．画面調整を行います。詳しくは「画面の調整」及び「OSD メニューによる画面の調整」を参照してください。
３．モニターに何も表示されない場合は「トラブルシューティング」を参照してください。

画面の調整（自動調整）

・画面の自動調整

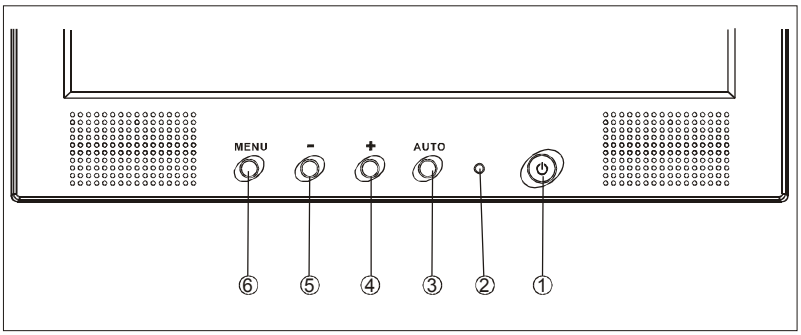
画面の明るさ、コントラスト、画面の位置、クロックの位相等を「マニュアル調整」もしくは「自動調整」にて調整することができます。「自動調整」を行うと、本機はご使用になられているグラフィックスカードの現在のモードに最適なセッティングに自動的に調整されます。ＡＵＴＯボタン(図４の③)を押すことによって自動調整が実行されます。本機を基本装置に接続したときは、最初に「自動調整」を行ってください。その後、必要に応じて「マニュアル調整」を行ってください。

・ダイレクトボリュームセッティング

ＯＳＤメニューが表示されていない状態でーもしくは＋ボタン（図４の⑤、④）を押すことによって、本機に搭載されているスピーカーのボリュームを調整することができます。ボリュームを上げるときは＋ボタン、下げるときはーボタンを押してください。

ＯＳＤメニューによる画面の調整（マニュアル調整）

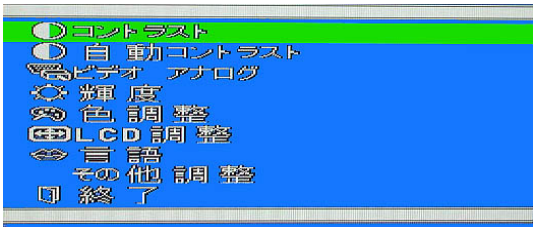
本機には OSD(On Screen Display)機能がついております。OSD メニューのウインドウにより本機の設定状態を確認したり、変更したりすることができます。



(図 4)

１．OSD メニューを表示させるには MENU ボタン(図４の⑥)を押します。
２．OSD には機能別に分類された合計９個のサブメニューがあります。OSD ボタンのーもしくは＋を押して調整したい項目を選択してください。詳細については「OSD メニューの調整機能」を参照してください。
３．選択されている機能を調整する場合、もしくはサブメニューの項目を表示させたい場合には MENU ボタンを押します。
４．サブメニューを選んだ場合にはサブメニュー内の調整したい項目をーもしくは＋ボタンで選択し、MENU ボタンを押します。
５．OSD ボタンのーもしくは＋ボタンを押してお好みの値に設定してください。
６．MENU ボタンを再び押すと、調整した値が本機に保存されます。必要に応じて２～５の手順を繰り返してください。
７．初期設定では OSD メニューが表示されている状態で３０秒間何もキー入力がないと OSD メニューは自動的に消えます。このとき、現在の設定値が保存されます。また、EXIT ボタンを押すことによって OSD メニューを消すことができます。

ＯＳＤメニューの調整機能



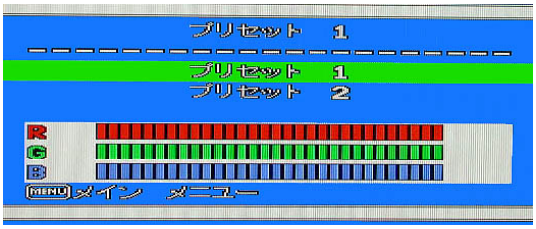
・コントラスト(CONTRAST)
画面のコントラストを調整します。

・自動コントラスト(AUTO-CONTRAST)
画面のコントラストを最適な設定値に自動的に調整します。

・ビデオアナログ／ビデオデジタル(VIDEO ANALOG / VIDEO DIGITAL)
ミニ D-Sub15 ピンコネクタと DVI-D24 ピンコネクタのどちらの入力信号を表示させるかを選択します。この機能は、本機に２台の基本装置が同時に接続されている場合にどちらの入力信号を表示させるかを選択する際に使用します。

・輝度(BRIGHTNESS)
画面の輝度(明るさ)を調整します。

・色調整(COLOR)
＋もしくはーボタンを押してプリセットのカラーモード(工場設定１もしくは工場設定２)を選択します。このとき、表示されている画面は選択された色温度にすぐに変化します。さらに細かく色を調整したい場合はＲ、Ｇ、Ｂのそれぞれの値を個別に設定することも可能です。＋もしくはーボタンを押して調整したい色を選択後、MENU ボタンを押して色を選択し、＋もしくはーボタンを押してお好みの値に設定してください。調整が済んだら MENU ボタンを押して値を保存します。

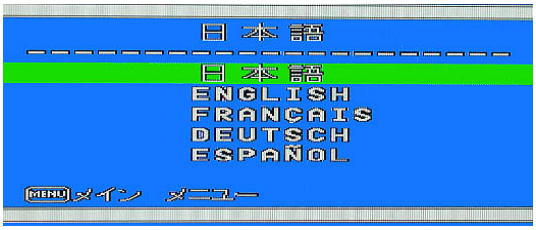


・ＬＣＤ調整(LCD ADJUST)

・PC/MAC：本機が PC に接続されているのか Macintosh に接続されているのかを選択します。Express5800 シリーズに接続する場合には PC を選択してください。
・水平サイズ(H SIZE)：画面の幅を調整します。
・水平位置(H-POSITION)：画面の水平位置を調整します。
・垂直位置(V-POSITION)：画面の垂直位置を調整します。
・微調整(FINE TUNE)：文字がにじんだり輪郭がはっきりしない場合に調整を行います。
・自動調整(AUTO-SYNC)：画面の明るさ、コントラスト、画面の位置、クロックの位相等を最適なセッティングに自動的に調整します。
・メインメニュー(MAIN MENU)：メインメニューに戻ります。

・言語(LANGUAGE)

OSD メニューの表示言語を選択します。



・その他調整(MISC)

・OSD 水平位置(H-OSD POSITION)：OSD メニューの水平位置を調整します。
・OSD 垂直位置(V-OSD POSITION)：OSD メニューの垂直位置を調整します。
・スムージング(SMOOTHING)：１２８０×１０２４以下の解像度にて使用する際のスムージング機能の調整を行います。特にテキストの読みやすさに変化があります。
・背景(INVISIBLE)：OSD の背景を透明にします。
・入力周波数(INFORMATION)：現在の解像度を水平／垂直周波数と共に表示します。
・リコール(RECALL)：本機の設定状態を工場出荷状態へ戻します。
・メインメニュー(MAIN MENU)：メインメニューに戻ります。

・終了(EXIT)

OSD メニューを終了します。

（お知らせ）OSD メニューのいくつかの項目はデジタル接続では調整不要であるため、選択できません。

プリセットタイミング一覧

本機には下表に示す１８種類のプリセットタイミングが工場出荷時に設定されております。これら以外にも５種類のユーザータイミングを追加で記憶可能です。

表示モード	解像度	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)
VGA	640×350	31.470	70.089
VGA	720×400	31.467	70.082
VGA	640×480	31.469	59.940
VESA	640×480	37.861	72.809
VESA	640×480	37.500	75.000
MAC	640×480	35.000	66.667
VESA	800×600	35.156	56.250
VESA	800×600	37.879	60.317
VESA	800×600	48.077	72.188
VESA	800×600	46.875	75.000
MAC	832×624	49.715	74.535
VESA	1024×768	48.363	60.004
VESA	1024×768	56.476	70.069
VESA	1024×768	58.036	71.916
VESA	1024×768	60.023	75.029
MAC	1024×768	60.241	74.927
VESA(*)	1280×1024	63.981	60.020
VESA	1280×1024	79.976	75.025

(*)本機を使用する際に最適なディスプレイモードです。

市販のアームを取り付けるとき

本製品はデスクトップにて使用することを前提として出荷されておりますが、VESA 規格に準拠した 100mm ピッチのアームを取り付けることができます。取り付けに関してはアームの取扱説明書をよくお読みください。

省電力モード

本機の電源を入れたままでも、基本装置を使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。本機の画面が暗くなるとともに電源ランプがオレンジ色に点灯します。
この機能は VESA DPMS 対応パワーマネージメント機能を搭載している基本装置と接続して使用する場合にのみ機能します。

モード	消費電力	電源ランプ
通常動作時	６０W	緑色
パワーセーブモード時	３W以下	オレンジ色

当社は国際エネルギースターのプログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

トラブルシューティング

画面に何も表示されない

電源ランプが消えている場合

・電源ケーブルとＡＣアダプターが正しく接続されていますか。（→「本機の接続」）
・本機の電源スイッチを押して電源を入れていますか。（→「本機を起動する」）

電源ランプがオレンジ色に点灯している場合

・基本装置が省電力モードになっていませんか。（→「省電力モード」）
・信号ケーブルが本機と基本装置とに正しく接続されていますか。（→「本機の接続」）
・基本装置の電源が入っていますか。（→基本装置の取扱説明書を参照してください）

“信号なし” と表示される

・信号ケーブルが本機と基本装置とに正しく接続されていますか。（→「本機の接続」）
・基本装置の電源が入っていますか。（→基本装置の取扱説明書を参照してください）

表示される画像がおかしい

画面の位置が左右または上下にずれて表示される

・画像は表示されているが中心がずれて表示されている場合には、OSD 機能を使って画面の位置を調整してください。（→「画面の調整」、「OSD メニューによる画面の調整」）

画面がぼやけていたり、ちらついたりする

・画面の輝度やコントラストの設定をチェックしてください。（→「OSD メニューの調整機能」の「コントラスト」と「輝度」）
・LCD の微調整を実施してください。（→「OSD メニューの調整機能」の「微調整」）

色がおかしい

・例えば白が白に表示されていないように見える場合は、色温度を調整してください。（→「OSD メニューの調整機能」の「色調整」）

画面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある

・液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。

画面を切り換えても前の画像が薄く残っている（焼き付き）

・長時間同じ静止画像を表示すると、このような現象が起こることがあります。電源を切るか変化する画面を表示していれば、像は１日程度で自然に消えます。なお、あまりにも長時間同じ画面を表示すると、焼き付きが消えなくなるおそれがありますので、「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えるようにしてください。

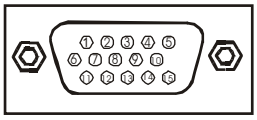
主な仕様

液晶モジュール	19 型(49.26cm)カラーＴＦＴ アンチグレアコーティング 画素ピッチ　0.294mm コントラスト比　500:1（公称値） 視野角　水平：170°、垂直：170° 輝度　250cd/ m^2
入力信号	ビデオ：アナログ 0.7Vp-p、　デジタル TMDS 同期信号：セパレート同期信号／複合同期信号：TTL レベル シンクオングリーン：0.3Vp-p
表示色	約 1677 万色
走査周波数	水平：30～82kHz 垂直：50～75Hz
ドットクロック周波数	最大 135MHz
解像度	最大 1280×1024
オーディオ	アンプ部：2W　8Ω / 1kHz～15kHz スピーカー：1W+1W
プラグ&プレイ	DDC2B 対応
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	最大 60W（省電力モード時は 3W 以下）
適合規格	VCCI クラス B
外形寸法	幅 439mm×高さ 440mm×奥行き 205mm
重量	7.9kg（モニターのみ）
動作環境	動作時：温度 10～40℃、湿度 20～80%（結露のなきこと） 保存時：温度-20～60℃、湿度 10～85%（結露のなきこと）

コネクタのピン配列

ミニ D-Sub15 ピンコネクタ(アナログ)

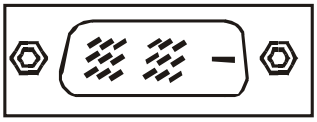
番号	機能	番号	機能
1	Red	9	+5V DC
2	Green	1 0	Ground
3	Blue	1 1	Ground
4	Ground	1 2	SDA(DDC DATA)
5	NC	1 3	H-Sync
6	Red Return	1 4	V-Sync
7	Green Return	1 5	SCL(DDC Clock)
8	Blue Return		



ミニ D-Sub15 ピンコネクタ

DVI-D24 ピンコネクタ(デジタル)

番号	機能	番号	機能
1	TMDS data2-	1 3	NC
2	TMDS data2+	1 4	+5V
3	TMDS data2 shield	1 5	Ground
4	NC	1 6	Hot plug detect
5	NC	1 7	TMDS data0-
6	DDC Clock	1 8	TMDS data0+
7	DDC Data	1 9	TMDS data0 shield
8	NC	2 0	NC
9	TMDS data1-	2 1	NC
1 0	TMDS data1+	2 2	TMDS clock shield
1 1	TMDS data1 shield	2 3	TMDS clock+
1 2	NC	2 4	TMDS clock-



DVI-D24 ピンコネクタ

Ｎ８１７１－３３
１９型液晶ディスプレイ取扱説明書
２００２年５月初版

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目７番１号

NEC Corporation 2002
日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。